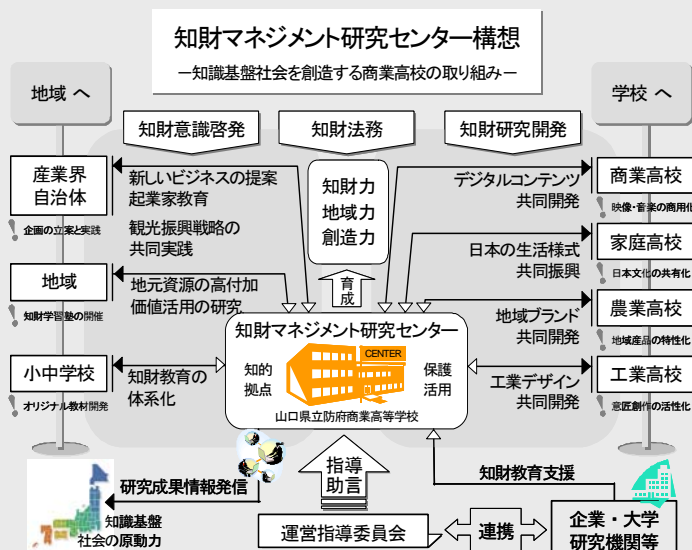


知財マネジメント研究センター構想

—知識基盤社会を創造する商業高校の取り組み—

山口県立防府商業高等学校

◆ 研究の概要



地元産業界や自治体・住民と連携し、情報をアイデアや知恵によって創造された価値ある知識にするとともに、これらを活かした経営や地域再生が行われるよう、協働して研究実践をする。将来を担う地域の小・中学校の児童・生徒へオリジナル教材等により知財教育を推進していく。

また、他の県内高校との連携により、それぞれの学科で作られる「もの」にデザインやブランドといった付加価値を創出することにより、知的財産として位置づけられるための研究を行う。

研究開発の成果を研究指定期間終了後も引き続き地域や他校に還元することにより、知財をマネジメントするセンターとしての機能を果たしていく。

◆ 研究事項

- 1年次**
 - 》小中学生ビジネスアイデアコンテスト（夏期休業の自由課題として実施）
 - 》中学生商品開発実習（中学生一日体験入学で実施）
 - 》COOL JAPAN戦略（地域の感性価値発信サイトの構築）
 - 》防府市観光戦略（市の関係機関が、企画内容をプロポーザルコンペ方式で審査）
 - 》キャラクター戦略（キャラクターが紹介する防府の「美」 審美眼サイト構築）
 - 》知的財産研修会（県内高校、校内、地域を対象として3回実施）
- 2年次**
 - 》防府ブランドの研究開発（防府ブランドとなる商品の開発）
 - 》地域活性化コンテンツ研究開発（「出版」や「アニメーション」のコンテンツ開発）
 - 》知財開発の企画提案（地域からの依頼に対応した商品開発やデザイン戦略）
 - 》知的財産教育の推進（中学生一日体験入学で防府のブランド商品を開発）
 - 》農業高校との連携（県立日置農業高校のブランディング化とパッケージラベル開発）
 - 》家庭に関する学科を設置する高校との連携（県立田部高校とオリジナル風呂敷を開発）
- 3年次**

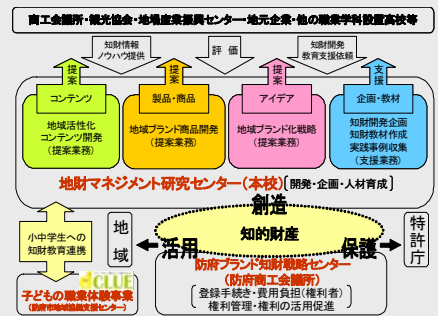
以下の4つを知財マネジメント研究センターの業務として確立し運用を開始

 - 》地域ブランド商品開発（新商品開発や販売戦略のアイデア企画）
 - 》地域ブランド化戦略（地域のブランド化の企画提案）
 - 》地域活性化コンテンツ開発（地域の魅力を発信するコンテンツ開発）
 - 》支援業務（地域からの依頼に対応した商品開発やデザイン戦略）

◆ 知財マネジメント研究センターの構築

》 内容

図1のように、「知財マネジメント研究センター」の業務を、①地域資源の魅力を出版やアニメーション等のコンテンツを作成し情報発信を行う「地域活性化コンテンツ開発」、②地域の魅力を活用した地域発の商品を開発する「地域ブランド商品開発」③地域の文化や歴史等の価値を地域の良いイメージとしてブランド化していく「地域ブランド化戦略」、地域からの依頼に対応して、知財開発や知財教材作成を行う「支援業務」の4つに分けた。



【図1】

防府商工会議所に「防府ブランド知財戦略センター」を新たに設置していただき、開発された知財を権利の主体となり、申請登録を行う共に、権利保護された知的財産の活用を地域の企業や事業所に働きかけていく業務を支援していただけることになった。

また、防府市地域協働支援センターの「子どもの職場体験事業」と連携して、地域の小中学生を対象とした商品開発などの講座を実施することとした。

》 成果

知財マネジメント研究センターと他の関連機関との連携した仕組みが構築されたことにより、「創造」「保護」「活用」の知的創造サイクルを円滑に動かすことが出来るようになり、知識基盤社会へ対応する生徒の人材育成と、知的財産による地域の活性化へ、継続的に取り組めるようになった。

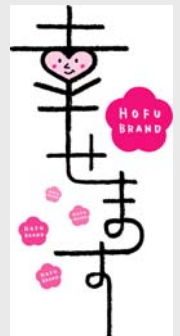
◆ 地域ブランド商品開発

》 内容

「地域理解を深める。」「新しい価値を考えようとする意欲を育てる。」「地域発の商品によって地域が活性化する仕組みを理解する。」の3点をねらいとして、地域の活性化に貢献するため、地域のブランド力を持つ新商品開発や販売促進のアイデアを企画し、商工会議所等の関係機関へ提案する業務を行う。

》 成果

本校が企画した防府ブランド「幸せます」（山口県の方言）が、防府商工会議所により商標登録申請され、地域で商品の開発が始まった。生徒は自分たちが考えた企画により街が動きだしたことで、アイデアが財産であることを実感した。



【新幸せますロゴ】

◆ 地域ブランド化戦略

》 内容

「地域理解を深める。」「新しい価値を考えようとする意欲を育てる。」「地域資源の魅力によって地域が活性化する仕組みを理解する。」の3点をねらいとして、地域の活性化に貢献するため、地域資源を活かした街のブランド化を実現するための企画を考え、商工会議所等の関係機関へ提案する業務を行う。

》 成果

「笑いによる街づくり」を目指して「世界お笑い協会」の設立と「お笑い講世界選手権大会」の実施を防府市観光協会に提案し、実現した。また、防府のブランド商品として「お笑いまきちらし寿司」を地元の料亭と共同開発し地域に広めている。生徒は「お笑い講世界選手権大会」が全国的に注目されていることから、ソフトパワーの重要性を実感した。



【お笑い講世界選手権大会】